

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 17 日 (2015.9.17)

【公表番号】特表 2014-528863 (P2014-528863A)

【公表日】平成 26 年 10 月 30 日 (2014.10.30)

【年通号数】公開・登録公報 2014-060

【出願番号】特願 2014-523317 (P2014-523317)

【国際特許分類】

B 6 0 R 13/08 (2006.01)

F 1 6 B 5/06 (2006.01)

F 1 6 B 5/04 (2006.01)

F 1 6 F 1/32 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 13/08

F 1 6 B 5/06 B

F 1 6 B 5/04 C

F 1 6 F 1/32

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 28 日 (2015.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遮蔽部材 (2) と、遮蔽装置 (1) を、対応する固定用ピースに固定するとともに固定部材を受ける少なくとも 1 つの固定用鳩目 (4) とを備え、前記固定用鳩目 (4) が前記遮蔽装置 (1) の固定用開口部 (3) において可動支持される遮蔽装置において、

前記固定用鳩目 (4) は、軸方向 (100) において遮蔽部材 (2) に対して弾性支持されるとともに、摩擦力が作用すると、少なくとも 1 つの径方向 (101) において、前記固定用開口部 (3) において前記遮蔽部材 (2) に対して移動可能となるように、弾性をもって構成された連結部材 (5) によって支持され、摩擦力を発生させるために、前記連結部材 (5) の径方向外側領域が、弾性プレストレスが作用した状態で、遮蔽部材 (2) の対向する外側 (14、15) のスライドゾーン (20) と協働し、

前記スライドゾーン (20) が、前記固定用開口部 (3) の近傍の隆起領域から構成されることを特徴とする遮蔽装置。

【請求項 2】

前記連結部材 (5) の径方向外側領域が、前記遮蔽部材 (2) の対向する外側 (14、15) において、前記スライドゾーン (20) と、直接に、または少なくとも 1 つの中間層を介して間接的に接当することによって協働することを特徴とする請求項 1 に記載の遮蔽装置。

【請求項 3】

前記連結部材 (5) が、前記固定用鳩目 (4) の溝 (12) において、バネアーム (9) の径方向内端部 (10) で支持される 2 つのバネワッシャー (6、7) から構成されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遮蔽装置。

【請求項 4】

前記隆起領域が前記固定用開口部 (3) 周りの実質的に凸凹状のボス部であることを特

徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 5】

前記隆起領域が前記固定用開口部 (3) 周りに配設されたドーム状のボス部であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 6】

前記固定用開口部 (3) が、前記固定用鳩目 (4) が少なくとも 1 つの径方向 (1 0 1) において移動できるような楕円形の穴であることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 7】

前記パネワッシャー (6、7) が径方向外側リング (8) を有しており、組み付け状態において、前記径方向外側リング (8) が前記スライドゾーン (2 0) に当たって、パネのプレストレスが作用した一对のトングのように、前記遮蔽部材 (2) を保持することを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 8】

前記連結部材 (5) の少なくとも 1 つの径方向外側領域と、前記遮蔽部材 (2) の前記対向する外側 (1 4、1 5) の前記スライドゾーン (2 0) との間に、前記中間層が位置することを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 9】

前記中間層が円形の円盤状中間部材 (2 4) として構成されるとともに、前記中間部材 (2 4) が、前記固定部材を収容するために前記固定用鳩目 (4) の穴 (2 1) と芯合わせされている開口部を備えることを特徴とする請求項 7 に記載の遮蔽装置。

【請求項 1 0】

前記中間層がステンレス鋼及び / またはパネ鋼から構成されることを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の遮蔽装置。

【請求項 1 1】

前記中間層の厚さ d が、 $0.01\text{ mm} < d < 0.5\text{ mm}$ 、特に $0.05\text{ mm} < d < 0.1\text{ mm}$ であることを特徴とする請求項 1 ~ 1 0 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 1 2】

耐摩耗コーティング、特に MoS_2 コーティングが、前記遮蔽部材 (2) の外側 (1 4、1 5) 及び / または前記中間層及び / または前記パネワッシャー (6、7) に施されていることを特徴とする請求項 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 1 3】

前記スライドゾーン (2 0) 及び / または立体形状の前記ボス部が、前記固定部材 (2) の異なる固定箇所からは異なる軸方向間隔 (a) で設けられていることを特徴とする請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 1 4】

前記固定用鳩目 (4) が、かしめによって互いに接合している少なくとも 2 つのリング部材 (1 6 a、1 6 b) から構成されることを特徴とする請求項 1 ~ 1 3 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 1 5】

前記パネアーム (9) が前記径方向外側のパネリング (8) から内方に延び、端部において互いに接当していることを特徴とする請求項 1 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 1 6】

前記パネアーム (9) が前記溝 (1 2) の規定縁部 (1 3) に当たっていることを特徴とする請求項 1 ~ 1 5 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 1 7】

前記固定用鳩目 (4) が前記固定用開口部 (3) の近傍、ほぼ前記遮蔽部材 (2) の面に位置するとともに、2 つの同一のパネワッシャー (6、7) が前記連結部材 (5) を形成するために用いられることを特徴とする請求項 1 ~ 1 6 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

置。

【請求項 18】

前記連結部材を形成するために、前記バネワッシャー（6、7）を、その立体形状に関し、特に、バネアーム（9）の形状に関して、また、材料の厚さ、バネの剛性、及び／またはバネアーム（9）の長さに関して、異ならせて構成することを特徴とする請求項 1 ～ 17 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 19】

遮蔽装置（1）内の前記スライドゾーン（20）の立体形状及び／または寸法（a）が、固定箇所における特定の温度及び振動ストレスに適合されることを特徴とする請求項 1 ～ 18 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 20】

前記遮蔽部材（2）が、アルミニウム及び／または鋼鉄製の遮蔽板であることを特徴とする請求項 1 ～ 19 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。

【請求項 21】

前記遮蔽部材（2）が多層構造であり、複数の遮蔽板で構成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 20 のいずれか 1 項に記載の遮蔽装置。